

# 第6回 幹細胞シンポジウム

## プログラム

期 日 : 平成20年5月16日(金)～17日(土)

会 場 : 学術総合センター

当番幹事 : 熊本大学 発生医学研究センター 田賀 哲也

主 催 : 幹細胞シンポジウム

## 5月16日(金) 第一日

参加登録・ポスター貼付	9:00～ 9:30
開会の辞 当番幹事 田賀 哲也	9:30～ 9:40
セッション I : 造血幹細胞	9:40～ 11:00

座長：自治医科大学

小澤 敬也

- O-1 新規造血幹細胞表面マーカーESAM1 の同定  
横田貴史<sup>1</sup>、織谷健司<sup>1</sup>、小亀浩市<sup>2</sup>、宮田敏行<sup>2</sup>、金倉 譲<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科、<sup>2</sup>国立循環器病センター研究所)
- O-2 造血幹細胞の細胞周期・代謝経路セレクターとして働く HIF-1 $\alpha$   
田久保圭誉<sup>1</sup>、平尾 敦<sup>3</sup>、合田亘人<sup>2,4</sup>、久保田義顕<sup>1</sup>、山田稚子<sup>1,5</sup>、  
宮本佳奈<sup>1</sup>、新井文用<sup>1</sup>、末松 誠<sup>2</sup>、Volker H. Haase<sup>6</sup>、Randall S. Johnson<sup>7</sup>、  
須田年生<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>慶應義塾大学 医学部 発生・分化生物学、<sup>2</sup>同 医化学、<sup>3</sup>金沢大学 がん研究  
所 遺伝子・染色体構築、<sup>4</sup>早稲田大学 理工学術院 先進理工学部 生命医科学科、  
<sup>5</sup>キリンファーマ(株)、<sup>6</sup>University of Pennsylvania School of Medicine、  
<sup>7</sup>Division of Biological Studies, University of California, San Diego)
- O-3 造血幹細胞の生着を規定するマクロファージ Sirpa 遺伝子多型  
竹中克斗、赤司浩一  
(九州大学医学研究院病態修復内科学)
- O-4 間葉系幹細胞と造血幹細胞の相互作用の分子メカニズム  
菊池裕二<sup>1</sup>、久米晃啓<sup>1</sup>、卜部匡司<sup>1</sup>、水上浩明<sup>1</sup>、鈴木隆浩<sup>2</sup>、尾崎勝俊<sup>2</sup>、  
小澤敬也<sup>1</sup>  
(自治医科大学 <sup>1</sup>分子病態治療研究センター遺伝子治療研究部、<sup>2</sup>内科学講座血液  
学部門)

コーヒーブレイク 11:00～11:20

特別講演 I 11:20～12:20

座長：慶應義塾大学医学部

佐谷 秀行

ストレス応答の制御機構～細胞がストレスを感じる仕組みと疾患～  
一條秀憲 (東京大学・大学院薬学系研究科・細胞情報学教室)

ポスターセッション 12:20～14:00

2階 中会議室：軽食付き

( 幹事会 203 会議室 12:20～13:00)

セッション II : 肝胆膵 14:00～15:00

座長：東京大学分子細胞生物学研究所

宮島 篤

- O-5 細胞表面マーカーによる成体肝臓幹細胞の解析  
河村由布子、岡部繭子、鈴木 香、齋藤 滋、田中 稔、宮島 篤  
(東京大学 分子細胞生物学研究所 機能形成)

- O-6 Tbx3 は肝幹細胞の増殖と分化を制御する肝発生に必須の因子である  
鈴木淳史  
(九州大学 生体防御医学研究所・器官発生再生学分野)
- O-7 可視化した臍幹細胞を用いた非対称分裂解析系の確立  
石川桃太郎、須崎敦大、川下金明、大島祐二、上野康晴、鄭 允文、  
谷口英樹  
(横浜市立大学大学院医学研究科 臓器再生医学)

### セッションⅢ：神経系

15:00~16:00

座長：東京大学医科学研究所

渡辺 すみ子

- O-8 神経幹細胞における転写因子 Gli2 の働き  
近藤 亨、高永博美、土田シュトラーター伸子  
(理化学研究所発生・再生科学総合研究センター、分化転換)
- O-9 網膜発生過程における Wnt シグナルの機能解析  
大内靖夫、渡辺すみ子  
(東京大学医科学研究所、再生基礎医科学)
- O-10 Tsukushi による網膜幹/前駆細胞の未分化性維持  
太田訓正、伊藤綾子、田中英明  
(熊本大学大学院医学薬学研究部、熊本大学グローバル COE)

### コーヒーブレイク

16:00~16:20

### 特別講演Ⅱ

16:20~17:20

座長：慶應義塾大学医学部

岡野 栄之

#### iPS 細胞の展望と課題

山中伸弥 (京都大学 iPS 細胞研究センター)

### セッションⅣ：多能性細胞

17:20~18:20

座長：熊本大学発生医学研究センター

西中村 隆一

- O-11 Neural derivation from induced pluripotent stem cells  
Hideyuki Okano<sup>1</sup>, Kyoko Miura<sup>1,2</sup>, Osahiko Tsuji<sup>1</sup>, Shinya Yamanaka<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup> Department of Physiology, School of Medicine, Keio University ,  
<sup>2</sup> Department of Stem Cell Biology, Institute for Frontier Medical Sciences, Kyoto University)
- O-12 マウス人工多能性幹(iPS)細胞からの系統的心血管系細胞誘導  
檜崎元太、山下 潤  
(京都大学再生医科学研究所 幹細胞分化制御研究領域)
- O-13 分化多能性の獲得と維持における PI3K/Akt シグナルの機能  
木村 透<sup>1</sup>、中村肇伸<sup>2</sup>、山野範子<sup>2</sup>、鈴木 聡<sup>3</sup>、仲野 徹<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>大阪大学 医学系研究科、<sup>2</sup>生命機能研究科、<sup>3</sup>九州大学 生体防御医学研究所)

### 総会

代表幹事

須田年生

18:20~18:30

### 懇親会

如水会館

18:40~20:00

## 5月17日（土） 第二日

### セッションV：エピジェネティクス

9:00～11:00

座長：奈良先端科学技術大学院大学

中島 欽一

- O-14 ES 細胞における STAT3 および Oct-3/4 による Eed の発現制御  
浦 大樹、小出 寛、横田 崇  
(金沢大学医学系研究科 再生分子医学)
- O-15 マウス ES 細胞分化における DNA メチル化プロファイリング  
砂河孝行<sup>1</sup>、白木伸明<sup>2</sup>、永江玄太<sup>1</sup>、堤 修一<sup>1</sup>、糸 昭苑<sup>2</sup>、油谷浩幸<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>東京大学先端科学技術研究センター ゲノムサイエンス、<sup>2</sup>熊本大学発生医学研究センター)
- O-16 Polycomb による神経幹細胞の分化ポテンシャルの制御  
平林祐介、鈴木菜央、後藤由季子  
(東京大学分子細胞生物学研究所 情報伝達研究分野)
- O-17 肝幹細胞の自己複製におけるポリコム群遺伝子 Ring1B の機能解析  
内藤貴子<sup>1</sup>、上野康晴<sup>1</sup>、宮部陽介<sup>1</sup>、磯野協一<sup>2</sup>、古関明彦<sup>2</sup>、谷口英樹<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>横浜市立大学大学院 医学研究科 臓器再生医学、<sup>2</sup>理化学研究所 免疫・アレルギー科学総合研究センター 免疫器官形成研究グループ)
- O-18 新規クロマチン制御分子 Brd1 (Bromodomain-containing protein 1) 欠損マウスにおける胎仔肝造血異常  
宮城 聡<sup>1</sup>、三嶋雄太<sup>1,2</sup>、根岸正充<sup>1</sup>、更屋敦則<sup>1</sup>、古関明彦<sup>3</sup>、岩間厚志<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>千葉大学医学研究院細胞分子医学、<sup>2</sup>千葉大学薬学研究院分子細胞生物学、<sup>3</sup>理化学研究所免疫・アレルギー科学総合研究センター免疫器官形成研究グループ)
- O-19 HOXB4 による Geminin の分解制御を介した造血幹細胞活性化機構の解析  
大野芳典<sup>1</sup>、安永晋一郎<sup>1</sup>、大坪素秋<sup>1</sup>、津村弥来<sup>1,2</sup>、岡田 賢<sup>1,2</sup>、石川暢恒<sup>1,2</sup>、白尾謙一郎<sup>1,2</sup>、時元利恵<sup>1</sup>、小林正夫<sup>2</sup>、瀧原義宏<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>広島大学・原爆放射線医科学研究所・幹細胞機能学研究分野、<sup>2</sup>広島大学大学院・医歯薬学総合研究科・展開医科学専攻・病態情報医科学講座)

### コーヒーブレイク

11:00～11:20

### 特別講演Ⅲ

11:20～12:20

座長：東京大学大学院医学系研究科

黒川 峰夫

アレイプラットフォームで展開する癌と遺伝疾患のゲノム・エピゲノム解析  
稲澤讓治 (東京医科歯科大学・難治疾患研究所)

### ポスターセッション

12:20～14:00

2 階 中会議室：軽食付き

**セッションⅥ：癌**

**14:00～15:40**

座長：国立がんセンター研究所

北林 一生

- O-20 AML1 による造血幹細胞制御と白血病発症機構  
西本菜穂子、市川 幹、合山 進、高橋強志、今井陽一、黒川峰夫  
(東京大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科)
- O-21 BMT モデルを用いた AID 高発現による白血病・リンパ腫の解析  
米野由希子<sup>1</sup>、北浦次郎<sup>1</sup>、渡辺直子<sup>1</sup>、加藤菜穂子<sup>1</sup>、沖 俊彦<sup>1</sup>、本庶 佑<sup>2</sup>、  
北村俊雄<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>東京大学医科学研究所細胞療法分野、<sup>2</sup>京都大学大学院医学研究科)
- O-22 Nucleostemin-GFP レポーターシステムによる白血病幹細胞の同定  
仲 一仁、大村昌子、村口輝行、星居孝之、平尾 敦  
(金沢大学がん研究所附属がん幹細胞研究センター 遺伝子・染色体構築研究分野)
- O-23 Notch シグナル亢進による白血病発症機構に基づいた in vivo 抗腫瘍効果の解析  
増田茂夫<sup>1,2,3</sup>、熊野恵城<sup>1,2</sup>、李 碩瑛<sup>1</sup>、坂田(柳元)麻実子<sup>1,2</sup>、中原史雄<sup>1,2</sup>、  
横山泰久<sup>1,2,8</sup>、鈴木隆浩<sup>1,2</sup>、花園 豊<sup>3</sup>、夏苺英昭<sup>4</sup>、富田泰輔<sup>5</sup>、岩坪 威<sup>5,6</sup>、  
小川誠司<sup>1,2,7</sup>、黒川峰夫<sup>2</sup>、千葉 滋<sup>1,8</sup>  
(<sup>1</sup>東京大学無菌治療部、<sup>2</sup>東京大学血液・腫瘍内科、<sup>3</sup>自治医科大学再生医学研究部、  
<sup>4</sup>帝京大学薬学部、<sup>5</sup>東京大学薬学部、<sup>6</sup>東京大学神経病理学、<sup>7</sup>東京大学 21 世紀  
COE、<sup>8</sup>筑波大学血液内科)
- O-24 発生学を基盤とした新しい小児がん研究へのアプローチ  
小林健一郎、西川伸一  
(理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター 幹細胞研究グループ)

**閉会の辞**

次回当番幹事 仲野 徹

**15:40～15:50**

## ポスターセッション

5 月 16-17 日 12:20~14:00

- P-1 マウス骨髄造血における DNAmicroarray により抽出した幹細胞特異的遺伝子の機能について  
久保田寧<sup>1</sup>、大沢匡毅<sup>1,2</sup>、Lars Martin Jakt<sup>1</sup>、吉川和明<sup>3</sup>、西川伸一<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup> 理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター 幹細胞研究グループ、  
<sup>2</sup> Cutaneous Biology Research Center, Massachusetts General Hospital、  
<sup>3</sup> 大阪大学蛋白質研究所 神経発生制御研究室)
- P-2 PSF1 は急性期の幹細胞分裂と長期の幹細胞数の維持に必須である  
上野将也、高倉信幸  
(大阪大学微生物病研究所 情報伝達)
- P-3 造血幹細胞分化を制御する Tie2 のリガンド非依存的二量体形成の解析  
山川大史、神本高宏、加藤真也、高倉伸幸  
(大阪大学微生物病研究所 情報伝達)
- P-4 Rac 活性化分子 Dock2 の造血幹・前駆細胞における役割  
菊地智子<sup>1</sup>、久保西四郎<sup>1</sup>、福井宣規<sup>2</sup>、谷本光音<sup>1</sup>、松井利充<sup>3</sup>、片山義雄<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup> 岡山大学医学部 血液・腫瘍・呼吸器内科、<sup>2</sup> 九州大学生体防御医学研究所  
免疫遺伝学分野、<sup>3</sup> 神戸大学医学部 血液内科)
- P-5 マウス胎生中期の造血組織における未分化血球系集団の同定  
信久幾夫、山崎奨太郎、Ahamed Ramadan、田賀哲也  
(熊本大学 発生医学研究センター 転写制御分野)
- P-6 Survivin は正常造血幹細胞の増殖とその遺伝子発現を制御する  
福田誠司<sup>1,2</sup>、Louis M. Pelus<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup> 島根大学医学部 小児科学、<sup>2</sup> Dept of Microbiology and Immunology, Indiana  
University School of Medicine)
- P-7 All-trans Retinoic Acid interacts with ABCG2 and inhibits its efflux activity  
Lawrence Lein, Yasuo Nagai, Hideyuki Okano, Yumi Matsuzaki  
(Department of Physiology, School of Medicine, Keio University)
- P-8 Robo4 の造血幹細胞における生理学的機能  
越野裕子、柴田 文、福地由美、Dean Li、北村俊雄、中島秀明  
(東京大学医科学研究所 細胞療法分野・研究拠点形成、University of Utah、  
慶應義塾大学医学部 内科学教室)
- P-9 ヒト正常造血における Flt3 の発現および機能解析  
菊繁吉謙、吉本五一、石川文彦、宮本敏浩、赤司浩一  
(九州大学病態修復内科学講座、九州大学病院遺伝子細胞療法部)
- P-10 臍帯血造血幹細胞の骨髄内移植に対する *ex vivo* 培養系の影響  
大石晃嗣、榊屋正浩、片山直之  
(三重大学医学部附属病院 輸血部、三重大学大学院医学系研究科 造血病態内科学)
- P-11 造血幹細胞のニッチ細胞としての骨芽細胞の分類  
中村由香、新井文用、五明由美子、岩崎博子、細川健太郎、吉原宏樹、  
須田年生  
(慶應義塾大学医学部 発生分化生物学)
- P-12 マウス骨髄間葉系幹細胞の分離と同定  
森川 暁、馬淵 洋、岡野栄之、松崎有未  
(慶應義塾大学医学部 生理学教室)

- P-13 ヒト間葉系幹細胞の分離と同定  
馬淵 洋、森川 暁、岡野栄之、松崎有未  
 (慶應義塾大学医学部 生理学教室)
- P-14 ヒト骨髄由来間葉系幹細胞、骨芽細胞の T 細胞に対する抑制効果  
北嶋俊樹、増子正義、倉崎桃里、柴崎康彦、古川達雄、鳥羽 健、相澤義房  
 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 血液学分野)
- P-15 外耳軟骨膜に存在するヒト間葉系前駆細胞の分離・同定  
武部貴則<sup>1</sup>、小林眞司<sup>1,2</sup>、乾 翠<sup>1</sup>、上野康晴<sup>1</sup>、鄭 允文<sup>1</sup>、前川二郎<sup>2</sup>、  
 谷口英樹<sup>1</sup>  
 (<sup>1</sup>横浜市立大学大学院医学研究科・臓器再生医学、<sup>2</sup>横浜市立大学 形成外科)
- P-16 Tet-on HNF3β(FoxA2)発現システムによるヒト間葉系幹細胞から肝細胞への  
 分化誘導系の開発  
石井恭子<sup>1,2</sup>、権田一絵<sup>1</sup>、松見吉朗<sup>1</sup>、明地雄司<sup>1</sup>、池田礼美奈<sup>1</sup>、坂部友  
 彦<sup>1</sup>、寺林 慶<sup>1</sup>、西尾れん<sup>1</sup>、岡本秀治<sup>1</sup>、田窪千子<sup>1</sup>、土谷博之<sup>1</sup>、星川淑  
 子<sup>1</sup>、栗政明弘<sup>1</sup>、梅沢明弘<sup>3</sup>、汐田剛史<sup>1</sup>  
 (<sup>1</sup>鳥取大学大学院 医学系研究科 機能再生医科学専攻 遺伝子医療学部門、  
<sup>2</sup>コアフロント(株) <sup>3</sup>国立成育医療センター生殖医療研究部)
- P-17 間葉系幹細胞を用いた骨軟部腫瘍発症機構の解析  
田中美和、山崎ゆかり、菅野陽平、中村卓郎  
 ((財)癌研究会 癌研究所 発がん研究部)
- P-18 歯、胸腺および骨髄の間葉細胞の由来およびその分化能の検討  
山崎英俊、門田大司、駒田行哉、川添真史郎、山根利之  
 (三重大学大学院医学系研究科 再生統御医学)
- P-19 骨格筋脂肪変性を担う筋間質に存在する間葉系前駆細胞の同定  
上住聡芳、土田邦博  
 (藤田保健衛生大学 総合医科学研究所 難病治療学)
- P-20 低分子ヒアルロン酸を介した間葉系幹細胞による免疫抑制機構の解明  
佐藤一也、尾崎勝俊、小澤敬也  
 (自治医科大学医学部 内科学講座血液学部門)
- P-21 ニワトリ胚を用いた、初期臍臓領域化モデルの提唱  
勝本恵一、福田公子、木村 航、嶋村健児、八杉貞雄、糸 昭苑  
 (熊本大学発生医学研究センター 幹細胞制御分野、首都大学東京 発生プログラム、  
 浜松医科大学 医学部、熊本大学発生医学研究センター 形態形成分野、帝京平成  
 大学 薬学部)
- P-22 Prox1 および Lrh1 の協同的作用によるマウス胎仔肝幹・前駆細胞の増殖制御  
紙谷聡英、柿沼 晴、中内啓光  
 (東京大学・医科学研究所・高次機能研究分野)
- P-23 多能性中胚葉細胞群における Flk1 新規 Enhancer の機能解析  
石飛博之、若松麻美、濱田理人、高橋 智、依馬正次  
 (筑波大学大学院基礎医学系、解剖学・発生学講座)
- P-24 神経幹細胞の増殖と分化の分岐を制御する因子 Sprouty4  
柏木太一、鹿川哲史、田賀哲也  
 (熊本大学 発生医学研究センター 転写制御分野)

- P-25 神経幹細胞の増殖・未分化性維持は ERK 活性化レベルにより制御される  
佐藤琢也<sup>1</sup>、仲 勇人<sup>2</sup>、島崎琢也<sup>2</sup>、岡野栄之<sup>2</sup>、後藤典子<sup>1</sup>  
 (1 東京大学医科学研究所 システム生命医科学技術開発共同研究ユニット、  
<sup>2</sup>慶應義塾大学医学部 生理学教室)
- P-26 メチル化 DNA 結合タンパク質 MeCP2 によるニューロン分化誘導機構の解明と  
 中枢神経系再生医療応用への検討  
辻村啓太、瀬戸口廣貴、精松昌彦、神山 淳、波平昌一、中島欽一  
 (奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科 分子神経分化制御学)
- P-27 Notch シグナルのオシレーションによって神経前駆細胞の維持が制御される  
下條博美、大塚俊之、影山龍一郎  
 (京都大学 ウイルス研究所)
- P-28 アラキドン酸は海馬神経前駆細胞の増殖を促進する  
前川素子<sup>1,2</sup>、松股美穂<sup>1</sup>、大和田祐二<sup>3</sup>、紺谷昌仙<sup>4</sup>、木曾良信<sup>4</sup>、湯浅茂樹<sup>2</sup>、  
大隅典子<sup>1</sup>  
 (1 東北大・院・医、<sup>2</sup>国立精神・神経セ、<sup>3</sup>山口大・院・医、<sup>4</sup>サントリー・健・研)
- P-29 ショウジョウバエ神経幹細胞の時間変化と休眠  
辻 拓也、長谷川恵理、一色孝子  
 (国立遺伝学研究所 新分野創造センター)
- P-30 Klf5 による自己複製制御の分子基盤  
長谷川賀一、高橋 智、藤井義明、依馬正次  
 (筑波大学大学院基礎医学系、解剖学・発生学講座)
- P-31 ES 細胞における ERas の新たな作用機構  
池田たま子<sup>1</sup>、田中裕次郎<sup>1</sup>、後藤典子<sup>2</sup>、岸友紀子<sup>1</sup>、増田茂夫<sup>1</sup>、高橋和利<sup>3</sup>、  
山中伸弥<sup>3</sup>、花園 豊<sup>1</sup>  
 (1 自治医科大学 再生医学研究部、<sup>2</sup>東京大学医科学研究所 システム生命医科学技術  
 開発共同研究ユニット、<sup>3</sup>京都大学 再生医科学研究所)
- P-32 p58 の IRES 依存的翻訳における PTB の役割とマウス ES 細胞の細胞周期制御  
大野里奈、佐藤充治、柴山正樹、吉田進昭  
 (東京大学医科学研究所 遺伝子機能研究分野)
- P-33 ポリコーム群によるヒストン修飾を介した ES 細胞の未分化性維持  
遠藤充浩、古関明彦  
 (理化学研究所 免疫・アレルギー科学総合研究センター 免疫器官形成研究グループ)
- P-34 Heterochromatin Protein 1b によるマウス ES 細胞の分化促進機構  
池田信人、川添真史郎、三木研吾、澁谷昌幸、森川久美、久留一郎、白吉安昭  
 (鳥取大学大学院医学系研究科機能再生医科学専攻再生医療学部門)
- P-35 転写因子依存的なエピジェネティック修飾を介した細胞運命決定  
北島健二<sup>1,3</sup>、鄭 潔<sup>2</sup>、杉山大二郎<sup>2</sup>、顔 宏哲<sup>1</sup>、仲野 徹<sup>1,2,3</sup>  
 (大阪大学 <sup>1</sup>医学系研究科、<sup>2</sup>生命機能研究科、<sup>3</sup>21 世紀 COE "CICET")
- P-36 Functional and Gene Expression Profile of Mouse Embryonic Stem  
 Cell-Derived Cardiomyocytes  
篠澤忠紘<sup>1</sup>、辻有紀子<sup>1</sup>、今橋憲一<sup>2</sup>、中島康祐<sup>3</sup>、沢田 啓<sup>1</sup>、豊柴博義<sup>1</sup>、  
山本 智<sup>2</sup>、高見健治<sup>1</sup>、今井良悦<sup>1</sup>  
 (1 武田薬品工業 開発研究センター、<sup>2</sup>創薬第一研究所、<sup>3</sup>探索研究センター)



- P-37 霊長類(ヒト、サル)胚性幹(ES)細胞からの高効率の血管内皮細胞産生システム  
佐伯久美子<sup>1</sup>、過足芳子<sup>1</sup>、中原正子<sup>1</sup>、中村直子<sup>1</sup>、松山さと子<sup>1</sup>、近藤 靖<sup>2</sup>、小柳明美<sup>3</sup>、八木田秀雄<sup>3</sup>、小柳 真<sup>1</sup>、安田和基<sup>4</sup>、湯尾 明<sup>1</sup>  
 (1国立国際医療センター研究所・血液疾患研究部、<sup>2</sup>田辺三菱製薬・先端医療研究所、<sup>3</sup>順天堂大学医学部・免疫学講座、<sup>4</sup>国立国際医療センター研究所・血液疾患研究部)
- P-38 マウス胚性幹細胞を用いた神経堤細胞の誘導と分化能の検討  
宮崎勝行、山根利之、川添真史郎、山崎英俊  
 (三重大学大学院医学系研究科 再生統御医学)
- P-39 マウス胚性幹細胞からの膵内分泌前駆細胞分化誘導  
樋口裕一郎、白木伸明、荒木喜美、糸 和彦、糸 昭苑  
 (熊本大学 発生医学研究センター)
- P-40 マウス色素芽細胞の持つ多分化能の解析  
本橋 力、山中勝正、國貞隆弘  
 (岐阜大学大学院 医学系研究科 再生医科学専攻 組織・器官形成分野)
- P-41 精巣腫瘍形成における DDX1 の役割  
田中貴代子、原 孝彦  
 (東京都医学研究機構・東京都臨床医学総合研究所 幹細胞プロジェクト)
- P-42 CMG-1 は精母細胞の Cyclin D2 および接着関連遺伝子の転写を制御する  
大林謙一郎<sup>1,2</sup>、田中貴代子<sup>1</sup>、藤野隆介<sup>1,2</sup>、田村和広<sup>2</sup>、原 孝彦<sup>1</sup>  
 (1東京都医学研究機構・東京都臨床医学総合研究所 幹細胞プロジェクト、<sup>2</sup>東京薬科大学薬学部 内分泌分子薬理学)
- P-43  $\alpha$ -ジストログリカンの O-マンノース型糖鎖修飾は骨格筋幹細胞の増殖と移動に必要である  
増淵菜弥<sup>1,2</sup>、宮本香織<sup>2</sup>、和田倫子<sup>1</sup>、花岡和則<sup>2</sup>、遠藤玉夫<sup>3</sup>、鈴木友子<sup>1</sup>、武田伸一<sup>1</sup>  
 (1 国立精神・神経センター 神経研究所 遺伝子疾患治療研究部、<sup>2</sup>北里大学 理学研究科 生物科学専攻 発生工学、<sup>3</sup>東京都老人総合研究所 老化ゲノム機能研究チーム)
- P-44 クローニン 15 ノックアウトマウスにおける腸管肥大について  
田村 淳、勝野達也、月田早智子  
 (大阪大学生命機能研究科/医学系研究科 分子生体情報学)
- P-45 胚体外内胚葉細胞の分化における Sox2 の機能解析  
福田沙月<sup>1</sup>、吉竹聡子<sup>2</sup>、名城浄子<sup>2</sup>、浜崎辰夫<sup>2</sup>、大河内仁志<sup>2</sup>、升井伸治<sup>1</sup>  
 (1国立国際医療センター研究所 細胞組織再生医学研究部 形質転換ベクター開発研究室、<sup>2</sup>国立国際医療センター研究所 細胞組織再生医学研究部)
- P-46 細胞機能改変のための新規ヒト人工染色体 (HAC) ベクターの開発  
掛田 実<sup>1</sup>、永田恵子<sup>1</sup>、佐野暁子<sup>1</sup>、大澤加奈子<sup>1</sup>、岡崎晃代<sup>1</sup>、設楽真吾<sup>1</sup>、香月康宏<sup>2</sup>、押村光雄<sup>2</sup>、富塚一磨<sup>1,2</sup>  
 (1キリンファーマ (株) 探索研究所、<sup>2</sup>鳥取大・院医)
- P-47 ウイルスベクターを用いたヒト ES 細胞への遺伝子導入法と相同組換え法の至適化  
三井 薫<sup>1</sup>、鈴木啓一郎<sup>1</sup>、相澤絵美<sup>1</sup>、椎葉晴香<sup>1</sup>、川瀬栄八郎<sup>2</sup>、長谷川光一<sup>2</sup>、末盛博文<sup>3</sup>、中辻憲夫<sup>2</sup>、三谷幸之介<sup>1</sup>  
 (1埼玉医大・ゲノム医学・遺伝子治療、<sup>2</sup>京大・再生研・発生分化研究分野、<sup>3</sup>京大・再生研・附属幹細胞医学研究センター)

- P-48 アデノ随伴ウイルスの染色体部位特異的遺伝子組込み機構を利用した安全な遺伝子導入法  
小原陽子、卜部匡司、水上浩明、久米晃啓、小澤敬也  
(自治医科大学 分子病態治療研究センター遺伝子治療研究部)
- P-49 多発性骨髄腫幹/前駆細胞抗原の同定  
保仙直毅<sup>1</sup>、福田勇氣<sup>2</sup>、杉山治夫<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>大阪大学大学院医学系研究科癌幹細胞制御学寄附講座、<sup>2</sup>大阪大学大学院医学系研究科機能診断科学)
- P-50 多発性骨髄腫細胞と骨髄ストローマ細胞間相互作用が誘導する薬剤耐性における鍵分子の探索  
畑野かおる<sup>1</sup>、菊池次郎<sup>2</sup>、高德正昭<sup>1</sup>、清水瑠美<sup>2</sup>、和田妙子<sup>2</sup>、上田真寿<sup>1</sup>、鈴木隆浩<sup>1</sup>、永井 正<sup>1</sup>、古川雄祐<sup>2</sup>、小澤敬也<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>自治医大・内科学講座血液学部門、<sup>2</sup>幹細胞制御研究部)
- P-51 Transformation of E2A-deficient pluripotent progenitors by BCR-ABL generates imatinib-resistant leukemic stem cells  
南 陽介<sup>1,2</sup>、伊川友活<sup>1,3</sup>、安部明弘<sup>2</sup>、Catriona Jamieson<sup>1</sup>、直江知樹<sup>2</sup>、Jean YJ Wang<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>Department of Medicine and Moores Cancer Center, University of California San Diego、<sup>2</sup>名古屋大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学、<sup>3</sup>理化学研究所免疫・アレルギー科学総合研究センター)
- P-52 ヒストン脱アセチル化酵素 (HDAC) による血球分化の制御と白血病における過剰発現  
和田妙子<sup>1</sup>、菊池次郎<sup>1</sup>、清水瑠美<sup>1</sup>、北村俊雄<sup>2</sup>、古川雄祐<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>自治医科大学・幹細胞制御研究部、<sup>2</sup>東京大学・医科学研究所・細胞療法分野)
- P-53 17;19 転座型急性リンパ性白血病における LMO2 遺伝子の過剰発現  
廣瀬衣子<sup>1</sup>、犬飼岳史<sup>1</sup>、菊池次郎<sup>2</sup>、清河信敬<sup>3</sup>、宮川世志幸<sup>3</sup>、黒田 格<sup>1</sup>、張 曉春<sup>1</sup>、赤羽弘資<sup>1</sup>、合井久美子<sup>1</sup>、古川雄祐<sup>2</sup>、黒澤秀光<sup>4</sup>、稲葉俊哉<sup>5</sup>、杉田完爾<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>山梨大学医学部小児科、<sup>2</sup>自治医科大学幹細胞制御研究部、<sup>3</sup>国立成育医療センター研究所、<sup>4</sup>獨協医科大学小児科、<sup>5</sup>広島大学原医研)